

さとしゅう

議会だより

No.84

2016.4.28



岡山県 里庄町議会



- 7パーセント増の大型予算を可決（平成28年度当初予算）…………… (2)
- 基金の持ち出し6億円は心配（総括質疑より）…………… (6)
- マコモタケ 採算はとれるのか（補正予算質疑）…………… (11)
- 町政を問う（6人が登壇）…………… (15)
- シリーズ“地域の子どもたち”…………… (22)

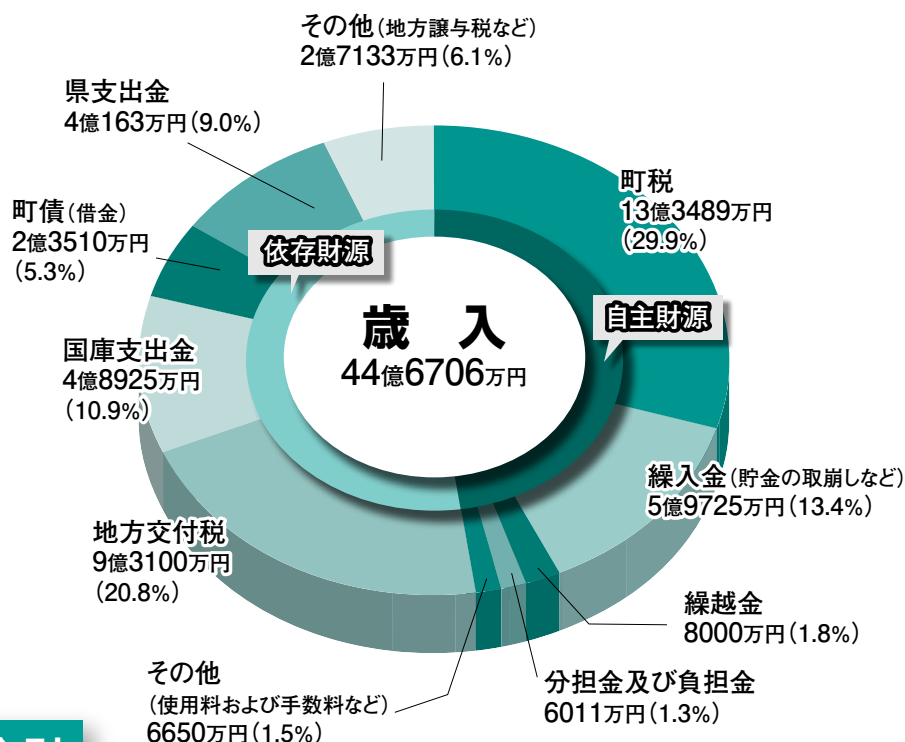
定例会

賛成6:反対3

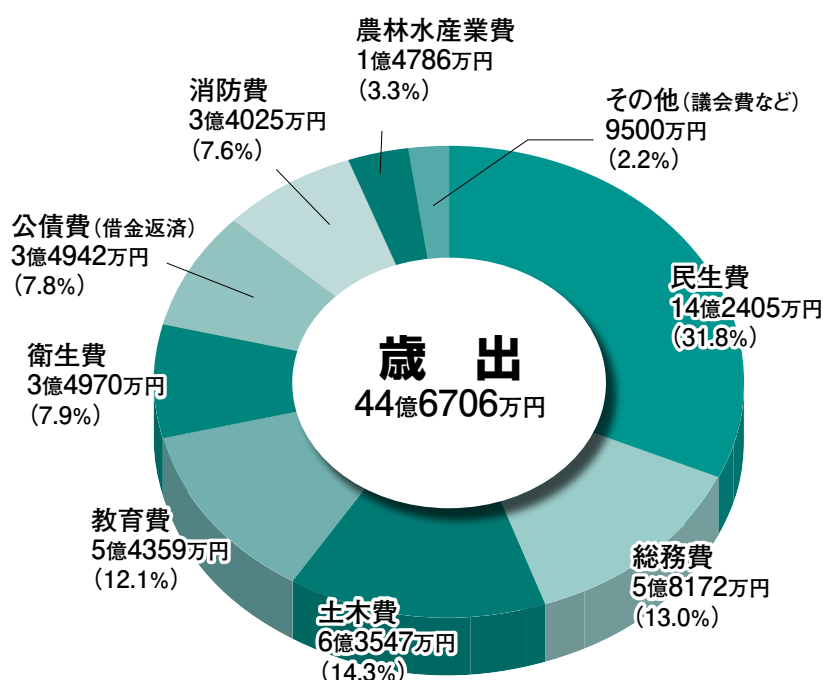
原案可決!!

極予算

平成28年第1回里庄町議会定例会は、3月2日から18日までの会期で開かれました。
議案は、平成28年度当初予算9件、平成27年度補正予算8件、条例の制定4件、一部改正4件、専決処分の承認1件、人権擁護委員候補者の推薦2件、その他1件が上程され、いずれも原案どおり可決・承認・同意されました。
なお、一般質問では6人の議員が登壇し、町の姿勢や考えを問いました。



一般会計



一般会計予算

平成28年度
当初予算

44億6706万円

基金5億9142万円を取崩し・活用したメッセージ性ある積
特別会計・企業会計はいずれも全会一致で可決



青空と満開の桜の下で（観桜会）

平成28年度 当初予算

会 計 名	金 額
一 般 会 計	44億6706万円
国 民 健 康 保 険 特 別	13億6024万円
介 護 老 人 保 健 施 設 特 別	3032万円
介 護 保 険 特 別	9億3768万円
後 期 高 齢 者 医 療 特 別	1億4998万円
水 道 事 業 会 計	3億9396万円
公 共 下 水 道 事 業 会 計	7億8166万円
育 英 奨 学 資 金 給 与 特 別	25万円
町 営 墓 地 特 別	654万円

町の借金と貯金

借金(元金)返済金 4億7187万円

借金(地方債)借入額 5億1250万円

借金(起債)残高^(28年度末) 72億1514万円

約39億円は地方交付税に算入される(試算)

貯金(基金)^(28年度末) 21億 680万円

マイナンバー利用
開始に伴うコンビ
ニ交付システムの
導入事業

1907万円

個人ナンバー制度の利
用に伴い、住民票等証明
書の交付が、全国どこの
コンビニでも受けられる
ようになります。

保育所法外援護等

3659万円

法定部分のほか、町独
自の援護措置として園児
一人当たりの単価で保育
園に2159万円補助し
ます。また障害児保育補
助金1200万円、及び
里見保育園に対し新たに
300万円補助します。

駅前広場等整備
基本構想の作成

570万円

駅前広場の整備や駅構
内のバリアフリー化を図
るため、基本構想を作成
します。

東小学校の放課後
児童クラブ2号舎
の新設

2025万円

東小学校の学童保育の
希望者増員に伴い、新規
に一教室を新設します。

里見674号線の
拡幅工事

1700万円

岩村から鴨方町深田方
面への道路の拡幅工事で
す。

平成28年度に完成の予
定。

年金生活者等支援
臨時福祉給付金

3282万円

平成27年度臨時福祉給
付金の対象者のうち、平
成28年度中に65歳以上
になる方を対象に、1人3
万円が国から給付されま
す。
5月から受付が始まり
ます。

県営ため池等整備
事業町負担金

2800万円

昨年度から施工してい
る長田池改修工事に伴う
負担金で、平成28年度事
業費1億4000万円の
20%が町の負担分です。

学校施設改修工事

1504万円

夏場に室温が上がる一
部の教室に、空調機を設
置するほか、プール補修
バスケットボールポスト
の更新等、教育環境の改
善を図ります。

駅西歩道橋補修
工事委託料

6415万円

里庄駅西の線路上にか
かる歩道橋の塗装のやり
替えを行う工事で、JR
に作業を委託するもので
す。

里見229号線
延伸事業

5200万円

殿迫から松尾里見川土
手に向けての延長工事の
地元説明を終えており、
里庄町土地開発公社が今
年度から用地買収を行う
予定で、町は借入金に対
し債務保証をします。

公共施設再生可能
エネルギー等導入
推進事業

1億3199万円

東西小学校、中学校、
図書館に太陽光パネルと
蓄電池等を設置し、非常
時の避難場所の電源を確
保するものです。



みんな仲良し！

事業!

こんなことを
行います。

新年度の 主な 平成28年度は、

ここが賛成！

先を見据えた予算

仁科千鶴子議員

8つの基本目標、4つの重点施策を進める予算。

将来のまちづくりに必要な事業に重点的に予算が配分され、活力ある里庄を目指した新規事業がある。

先を見据えた大きな予算をつぎ込み、10年、20年先に大きな効果を生み出す。

ここが反対！

公平・平等な助成を

岡本雅道議員

軽自動車税は、地域の実状に沿った課税額、少なくとも税額据え置きとすべき。

高齢者タクシー料金助成事業は、対象者選定方法を改める必要がある。公平、平等な助成をすべき。

中学生の海外派遣・ご褒美旅行の廃止、3人の英語指導助手をJETに変更すれば、2100万円捻出できる。

ここが反対！

空中散布は止めるべき

高田卓司議員

松くい虫防除のための空中散布は、健康被害や生態系への悪影響がある。

低農薬に変えたというが、効果も低下。

空中散布は止めるべき。松が枯れても、雑木が茂るから、洪水の危険はない。

マコモタケの宣伝に多額のお金。同好会はいずれ撤退する。需要が増えても、生産が追いつかなければ、持続不可能。

6億円もの赤字予算。削れるところを削らず、ばら撒きでやろうとしている。



ピカピカの一年生

雨漏り防止のため、防水工事をします。

4999万円

小、中学校の屋根
防水工事

戸籍システムのリプレイスのための委託料です。

2181万円

戸籍システム
入れかえ準備

県道園井里庄線改築事業について、補償費など県単独事業費の15%を負担するものです。

5325万円

浜中バイパス負担金

教育コーディネーターを中心に、小中学生を対象とした自学・自習教室を毎月1回開催の予定。

210万円

寺子屋を設置等

質 疑

▼エアコン設置に至った経緯は トータルに、長期を見るべき

平成28年度当初予算4人、条例の制定等
3人が質疑しました。

平成28年度予算総括

エアコン設置に至った経緯は

- 岡本議員**
- ① ふるさと納税を増やすための施策は。
 - ② 定住促進事業の効果の予測と説明の踏み込み方は。
 - ③ 学童保育の充実は一ド面だけか。内容の充実を図る考えもあるのか。
 - ④ 資源回収推進事業は何をするのか。
- ごみの減量化リサイクル事業の取り組み強化の方法と効果は。

- ⑤ PTAによる廃品回収に係る保護者の負担をどう考えているか。
 - ⑥ 農業の後継者不足解消の対策と効果は。
 - ⑦ 1561万円かけて英語指導助手を配置し、英語教育の充実を図るとしているが、効果は。
 - ⑧ これまでエアコン設置を繰り返し求めたが、一切応じなかった。5年目にしてやっと東
- 小学校の音楽教室に必要なとの判断に至った経緯は。
- 9** 里見川荘について、指定管理者と町の規約の中に、町長も「知らなかった」という事があった。我々の知らないところで契約が進んでいることは納得できない。
- 企画商工課長**
- ① 倍額の入りを見込めるよう見直したい。
- そのために、1万円以上の方に返礼、また返礼の割合を6%から30%程度にあげる。
- クレジット決済ができるヤフー公金払いサービスに登録する。
- ふるさと納税紹介のポータルサイトへも入った。
- 2** 5年後10人の転入を目標として設定。
- 今現在、移住ポータルサイトからの申し込みで、3人が移住している。
- ニーズに合わせた定住促進の中で、就職の支援も行う。

- 前から気温が高いことを学校から聞いていた。
- 窓を開けると隣の教室に音が響く。
- 町民課長**
- ④ PTAだけでなく、分館や各種団体等も登録していただき、キロ6円補助金を出す。
- ごみの減量化については、各分館を回ったり、広報番組を作った。
- 減量の目標値は、平成31年度までに家庭ごみ10%減、資源ごみの排出量10%増。
- 不燃ごみ回収の回数を減らし、資源ごみの収集日を増やすことを検討。
- 5** やり方等不便があれば
- 相談いただき、実施は引き続きお願いしたい。
- 農林建設課参事**
- ⑥ 現在、手の際地区の耕作放棄地2haの再生を行っており、今0・6ha完了。
- これから、幅広い視点に立った耕作放棄地の解消対策を積極的に進めていく。
- また、後継者の離農を少しでもなくそうと考え、営農指導等を実施しているが、将来的な予測は立たない。
- 総務課長**
- ⑨ 予算決算委員会までに別表を配り、説明する。
- 岡村議員**
- ① ふるさと納税寄附の額の刻みは。
- 返礼品は、どのような商品にするのか。
- 各自自治体が知恵を絞って
- 返礼品は、1万円〜5万円は差が大きすぎる。
- 2** 共通番号制の開始に伴い税務課へ配置される臨時職員の雇用期間と募集

ふるさと納税寄附の刻み・返礼品は

の仕方は。

③コンビニ交付システム導入委託料と、関連機器購入費が計上されているが、どこのコンビニに設置するのか。

④林地区の町営住宅の屋根は、家賃を滞納しているところも修理するのか。

⑤英語指導助手は、長期雇用はできないのか。

1561万円を単純に3で割った額が3人の先生の金額か。

⑥里見川荘の屋根の塗装等を1年間放つておいても問題ないか。

企画商工課長 ①1万円

以上5万円未満は3500円で50件、5万円以上10万円未満は1万6000円で20件、10万円以上3万1500円で5件積算している。

地域特産品のお返しを考えている。

現在まで、5万円未満の方は、特産品が無くても応援いただいていた。

町民課参事 ②6月から来年3月までの10カ月分、

150万円を計上。

町のホームページ、回覧、ハローワークへの求人情報の提供を考えている。

町民課長 ③既存のコンビニ

④昭和三十二年に建てられ、5棟ある全てのものが傷んでいるため、今回2棟、29年度は3棟を改修する。

農林建設課長 ⑤基本的

には本人の希望が重視される。

教委事務局長 ⑥1年ぐら

1人当たり約520万円が委託料である。総務課長 ⑥1年ぐら

予算編成方針を問う

仁科千議員 ①総務課長

の予算編成方針を問う。②平成27年度との比較で3億円予算が多くなっている。大きな理由は。

③これからも単独でいく里庄として、頑張っていく策を講じているか。

④基本目標を目指した事業、その予算。行政効果はどうであるか。

⑤里庄駅前周辺の整備事業で目指しているものは。

⑥28年度予算では、基金が6億円減少するが、町長はどう考えるか。

総務課長 ①後期基本計

画に掲げた4つの重点施策である定住環境、子育て支援、学校教育及び高齢者福祉に関する各基本施策の展開・推進に努めることを共通認識とした。

また、まち・ひと・しごと創生総合戦略の施策、事業について、十分吟味

した上で積極的に要求するよう指示した。

予算編成では、事業の必要性と効果を再度検証し、メッセージ性のある予算とすることを基本とした。

②住民情報の基幹システム入れかえの準備、コンビニ交付システムの導入

事業、公共施設再生可能エネルギー等導入推進事業等、大きな事業が重なった。

③財政運営にとつて厳しい状況は続く。

自助、共助、公助の役割分担を踏まえ、費用対効果をききわめながら、慎重な財政運営を行う。

教委事務局長 ④学校施設

は、基本的な教育条件の一つであり、非常・災害時には避難場所などの防災拠点としても重要な役割を担っている。

東・西小学校及び中学校の屋根防水・改修工事を実施する。

保育サービスでは、東学童保育2号舎棟の新築工事、西学童保育では空き教室を学童保育用に改修、生涯学習の推進事業として、中央公民館を利用した寺子屋事業等を実施する。

健康福祉課長 ④障がい

者の人々が自立し、社会参加ができるような福祉のまちづくりを目指しており、各種健診を充実し、新規に発達障がい児童の親の会を発足させる。

心不全マークを特定検診項目に追加する。

住民課長 ④保育所の保

育料について、同時入所の場合の2人目無料は継続しながら、国の制度改正によって、年収360万円未満の世帯は、第1子の年齢に関係なく第2子は半額、第3子は無料となる。

また、岡山県の補助制度を利用し、第1子の年

齢・年収に関係なく、第3子以降の3歳未満児は無料とする。

農林建設課長 ④道路

事業の主なものに、浜中バイパスの整備、岩村の町道里見674号線の整備、町道229号線の松尾方面への延伸、国費50%補助の狭あい道路7路線の整備がある。

⑤構想の段階なので、具体的効果等は言えない。

駅の前は、大型バスが回転できるぐらいの広さは構想に入りたい。

エレベーターは、JRと協議したい。

町長 ⑥基金の取り崩

しが6億円。これは、私も非常に大きい額だと思う。

少子高齢化が進む中で、教育環境確保の経費、医療費の繰出金等、全体的に5%ずつぐらいいは増えている。

安心できるというような状態でない。

トータルに、長期を見るべき

仁科英議員

①平成27年

度より7・0%増の積極的予算案だが、基金を6億円崩す水膨れ。

①新規及び大幅増額事業の一般財源額は。

②その増加額は。

③うち交付税に算入されない純粋一般財源持ち出し額は。

④うち翌年度に継続する額は。

⑤大幅に縮小した事業は。

⑥28年度の実質単年度収支、再収支、及び経常収支比率の見込みは。

⑦基金が最後には22億円余りになるという話だったが、もう少しは残せるのではないかと思う。

それにしても、3〜4億円は潰れる。

今年が特別に多く、翌年度はこれが1億円程減るとしても、安心できない。

しかし、下水道事業を後送りするのは絶対に止めるべき。送れば送る程高くなる。金利も、今が絶好のチャンス。

財政運営は、トータルに、長期を見るべき。

②ふるさと寄附金について、⑧里庄町民も里庄町に寄附できるか。

⑨外の団体に何人、幾ら寄付したか。

⑩使い道の指定は。

⑪26年度に入ったふるさと寄附金は82万円。

外に出た寄附金124万円は税額控除され、その分税金が減るので、里庄町は差し引きマイナス。

全国では、ゼロサムゲームの取り合い。狙いを外れて暴走している。

本来の趣旨に戻せと訴えるべきでは。

③英語指導者派遣委託事業の一般財源の持ち出し

1500万円は大きい。交付税に算入される自治体国際化協会からの派遣(JET)に切り替えるべき。

町長の見解は。

総務課長

①⑥6億9300万円、②1億3700万円、④3800万円、⑤道路2事業及び図書館図書購入費で1億1500万円の減、⑥27年度実質単年度収支見込み△2000万円、27年度再収支見込み△1億9600万、26年度経常収支比率89・3%。

⑦財政調整基金は、未だ余裕がある。事業に伴って特定目的基金が減少するのはやむを得ない。

③数年前まではJETを利用していたが、問題があった経緯がある。

今後の見直し・検討の対象から外れているわけではない。

町長 ①⑦これからは、ある程度切り詰めるところ、抑えるところを工夫しないと大変だと認識している。

ている。

②①同じ考え。町村会で意見としては出したい。

企画商工課長 ②⑧できる。

⑩申し込み時に、選択肢を設けて、目的を聞いている。指定なしもある。

町民課参事 ②⑨26年度は20件で、約124万円。

副町長 ②⑪問題があると国が考えるなら、国が制度改善すればいい。

教育長 ③教育は人、そして教育的な力量。JETより安心して任せられる。

予算決算委員会

予算決算委員会

委員長報告

眞野委員長

予算決算委員会は、3月10日、11日及び14日の3日間にわたり開会した。平成28年度の予算は、

①第三次里庄町振興計画に掲げた、町民とつくる住みやすさ、優しさが実感できる町里庄の実現を目指している。

②後期基本計画に上げた8つの基本目標のもとに編成されている。

③国が掲げるまち・ひと・しごと創生総合戦略に関する地方創生を着実に推進するため、より実効性のある施策を展開している。

執行部からは、里庄町総合戦略に基づく定住促進につながるさまざまな事業、結婚から子育てまでの切れ目のない支援事業等の説明があった。

これらに対して、委員からは、軽自動車税について、軽減の検討が必要ではないか。

・松くい虫防除薬剤空中散布について、安全性に疑問がある。

等の質疑や意見があった。採決の結果、平成28年度里庄町一般会計予算については、賛成多数で原案を可決すべきものと決した。

その他の特別会計及び上下水道会計の予算については、全会一致で可決すべきものと決した。

町条例

制定

里庄町行政不服等審査会条例

里庄町情報公開条例に基づく審査会と、里庄町個人情報保護条例に基づく審査会を、行政不服等審査会に統一し、対処する条例です。

この会は、請求人の秘密保護のため、非公開です。

行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

関係6条例にわたり、必要な事項を定める条例です。

地方公務員法及び地方独立行政法人法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

法の一部改正に伴い、

関係町条例の条項改正、等級別基準職務表の追加等、一部を整備するものです。

地方活力向上地域特定業務施設整備計画に伴う固定資産税の特例に関する条例

地方の活力再生を総合的かつ効果的に推進するために、本社業務機能有する事業所が、町内の指定した区域内にきた場合に、固定資産税を3年間減免するものです。

一部改正

固定資産評価審査委員会条例

行政不服審査法、行政不服審査法施行令の施行に伴い、審査の申し出等について必要な改正を行うものです。

里庄町職員の給与に関する条例

平成27年人事院勧告において給与改定等の勧告がなされたことに伴い、職員の給与等を同勧告に準じて改正するものです。

里庄町税条例

地方税法の一部を改正する法律の施行に伴い、税金の納入に関し、徴収の猶予及びその手続き、分割納入等を改正するものです。

方法に関する基準を定める条例

介護保険法の一部改正に伴い、地域密着型通所介護事業所の生活相談員、看護師、介護職員、機能訓練指導員等職員の人員確保数、及び設置すべき設備、備品等の内容を改正するものです。

専決処分の承認

里庄町税条例等の一部を改正する条例の一部を改正

減免申請時における個人番号の記入を不要とするものです。

総務文教委員会

委員長報告

岡村委員長

閉会中の継続審査となっていた請願第3号戦争法（平和安全法）の廃止を求める意見書を、政府に送付する請願書について、去る2月24日に委員会を開催し、慎重に審査を行いました。

委員からは、請願の趣旨を丁寧に読むべき、もう少しきちんと勉強して結論を出したい等の意見が出され、その結果、この請願に関しては、賛成多数で継続審査と決しました。



二人仲よく観桜会

質疑

里庄町行政不服等審査会条例

一切非公開とするのか

佐藤議員 里庄町情報公開審査会は、

①「委員以外の出席を求め、意見・説明を聴き、又は資料の提出を求める」ことができたが、今後は変わるか。

総務課長 里庄町情報公開審査会及び里庄町個人情報保護審査会は、里庄町行政不服等審査会へ統合する。

①何ら変わらない。
②個人情報とか、第三者の情報提供とかで、非公開に変わる。

委員はどういう人を選ぶのか

仁科千議員 委員は、「公正な判断をすることができ、かつ、法律又は行政に関して優れた」となっている。

どういう基準で、どういう人を選ぶのか。

総務課長 当町にはいろいろな外郭団体があり、優れた所見、認識を持っていた人もいます。その辺も総合的に判断しながら検討する。

地方活力向上地域特定業務施設整備計画に伴う固定資産税の特例に関する条例

軽減区域と業種・施設は

仁科英議員 ①里庄町には、この条例により税の軽減を受けるものになる地域再生法に基づく認定地域再生計画はあるのか。

誰が、いつ、どのように作成し、内閣総理大臣の認定を受けたものか。
②計画の区域はどこか。
③軽減税率が適用される区域と対象業種・施設は。
④固定資産税減免の内容及び交付税の補填は。
企画商工課長 ①県が作成し、平成27年10月に認定された。
県から意向調査があり、当町も参加した。
②岡山県全域。
③軽減は、計画で定めた地方活力向上地域。
移転型事業区域と拡充

型事業区域がある。

移転型は、グリーンクエストを除く里見、新庄浜中を、大字単位で指定。拡充型は、現在ある企業の周りを地番で指定。対象は、風俗営業等を除く業種で、調査・企画情報処理、研究開発、その他管理業務部門のある施設等。
町民課参事 ④移転型は、1年目企業負担はゼロ。2年目4分の1、3年目2分の1。
拡充型は、1年目ゼロ、2年目3分の1、3年目3分の2。
法及び総務省令に基づいており、減収分は、100%交付税で補填される。

里庄町職員の給与に関する条例の一部改正

国と同じ内容で変わるのか

仁科英議員 地方公務員の給与改定は、制度上は、その地域の民間の給与水準との格差を是正するものであり、里庄町は、町内の民間の給与を調べて、それに合わせるのが本来だ。

しかし、当町では調査していないので、国の改定に習って改定するということだと思う。

①提案理由で、給料表の改定率は0・4%と云われた。

しかし、補正予算では、これとは違った率が書かれている。それはどういう計算で出てくるのか。

②国の人事院勧告に基づく給与改定率と町の改定率が違うのはなぜか。

③給料表は国と同じ内容

で変わる、という理解でよいのか。

④勤勉手当も同じか。

⑤この給料表の適用にならない嘱託職員については、どのような考えか。

総務課長 ①実際に支給している額により予算計上した額の上がり率だ。

②若年層と高齢層では引き上げ額に差はあるが、国も、総合的に平均すると0・4%である。

③里庄町も全く同じ給料表を適用している。

④同じだ。

⑤現時点では、今回の改定に基づいて上げることが考えていない。

補正

▼マコモタケ、採算はとれるのか
▼ハード事業は対象にならないのか

平成27年度補正予算8件はすべて原案どおり可決しました。
質疑は、一般会計が3人、特別会計は2人が行いました。

一般会計補正

(歳入)

地方創生加速化交付金

2710万円

町営墓地特別会計
繰入金

減額748万円

(歳出)

自治体情報システム
強靱性向上事業

1510万円

基金積立金

3084万円

まこもたけ地域ブランド
確立事業

2710万円

など

介護老人保健施設 特別会計補正

(歳出)

工事請負費

減額389万円

備品購入費

減額614万円

財政調整基金積立金

1003万円

質疑

平成27年度里庄町一般会計
補正予算

ハード事業は対象にならないのか

仁科英議員

①地域リー

ダー育成事業等一般財源
で既にやっていることで、

地方創生加速化交付金2
710万円の対象になる

ものはないか。取り込め
ないか。

ハード事業は対象にな
らないのか。

②情報システム強化事業。

国庫補助金と地方債の
合計1510万円に対し、

委託料、工事費、備品費

の計は30万円少なく、繰
越明許費は40万円多い。

何故か。

システム強靱化の委託

は、誰に、何を。

パソコン購入費110

0万円は、どういうもの
を、どう買うのか。

③地方創生加速化交付金

の企画費1900万円。
地域ブランド確立事業

関係費の内容は。委託料
1600万円で、どこに
何を調べてもらうのか。

マコモタケ限定か。

桃、ぶどう、柿、野菜
等の農産品や工業製品に
まで広げられないか。

④同老人福祉費152万

円は、具体的には何か。

⑤同農業振興費は、何か。

総務課長 ①他の補助金

が充てていたら、対象外。

官民協働、地域間連携、

政策間連携の3つから2

つ以上を組み合せなけれ

ばならない等の制約があ

り、マコモタケ中心の事
業となった。

ハードも、二分の一以

内なら出せるが、いろい

ろな説明が必要で、今回

は、出せなかった。

②今福山の業者に委託し

ており、そういった精通

した業者になるだろう。

インターネットと基幹

システムの分離、二要素

認証システムの導入が条
件で、パソコンとプリン
ター10台ずつの追加購入
費、セキュリティシス

テム関係費等。

企画商工課長 ③マコモ

タケのブランド化を進め

るための市場調査100

0万円、プラン作成40

0万円、商標登録50万円、

成分分析を健康づくり財
団、農業試験場等に委託
する1500万円。

また、販路拡大の支援

100万円等。

マコモタケに集中する。

健康福祉課長 ④つばき

会への配食サービス委託

料。28年度事業の振替え。

農林建設課長 ⑤就農ア

ドバイザー賃金、シルバ
ー人材センターを活用し

た高齢者の新規雇用と新

規就農者の支援のための

委託料等。

料理教室は、28年度事

業の振替え。

その他の質問

・4事業の繰越明許理由
・保育所児童措置費の1
500万円減額の理由

町営墓地会計からの 繰入金減額の理由は

高田議員 ①減額理由を尋ねる。

- ・保育所児童措置費の国県負担金。
- ・子育て世帯臨時特別給付金国庫補助金。
- ・町営墓地特別会計からの繰入金748万円。
- ・町債償還金利子447万円。
- ②開発基金だけに3000万円積み立てる理由は。
- ③西部衛生施設組合負担金297万円の減額は、下水道への接続又は合併浄化槽の設置で処理量が減ったためか。
- ④技能労務職の初任給は、中学卒だけ記入されており、高校卒及び大学卒は、改定前も改定後も金額がない。

採用しない考えか。

町民課長 ①0歳児の入園を10人程度多めに見込

んでいた。

- 児童手当負担金も延べ40人程開きがあった。
- 墓地の申込み実績が4㎡2区画、5㎡1区画、6㎡2区画の見込みとなつたため。
- 残りは146区画。
- ③し尿の搬入量が少なかったことと修繕料の減額である。

総務課長

- ①今年度起債の早期執行がなかった。
- ②下水道会計等に非常にお金が必要なので、通常余剰財源は開発基金に積み立てている。
- ④行政職と技能労務職の違いで、採用はする。

こんなに投資して、採算がとれるのか

岡本議員

マコモタケの地域ブランド確立事業に2700万円の補正。過去にも1000万円以上投資されている。

こんなに投資して、本当に採算がとれるのか。今年度いっぱい大手の生産者が撤退している。地域ブランドとして確立すれば、商品登録すれば、売れるのか。

幾らの生産量、売上げ、利益があるのか。それは年々増えていくのか。農業後継者不足の中で、本当に継続できるか。

予測も計画性も無いこういう投資はおかしい。

副町長 マコモタケへの取組みの目的は、遊休農地、荒廃農地の解消。収益も、稲作より見込める。

今までの人に替わる人も手を挙げてくれており、

さらに現在頑張っている人の後押しをする。

加速化交付金を有効に利用して、里庄町の特産品をつくる。

農林建設課参事

平成26年度の実績は、作付面積1万6000㎡、出荷量4800kg、出荷額約250万円。

27年度の実績は、1万9000㎡、5600kg、約480万円。

4年先には4ha、12000万円を考えると進めたい。担い手確保も進めたい。



マコモの株分け作業

3月補正の結果

会 計 名	補正後の金額	(補正額)
一般会計(4号)	43億6800万円	(504万円)
一般会計(5号)	43億7019万円	(219万円)
国民健康保険特別	14億2540万円	(△1358万円)
介護老人保健施設特別	3781万円	(0円)
介護保険特別	9億1916万円	(△3902万円)
町営墓地特別	428万円	(△771万円)
水道事業会計		
収益的支出	2億5894万円	(285万円)
資本的支出	8552万円	(△995万円)
公共下水道事業会計		
収益的収入	3億2311万円	(△6万円)
収益的支出	2億9089万円	(△6万円)
資本的収入	3億4089万円	(△892万円)
資本的支出	4億6399万円	(△1792万円)

人事

人権擁護委員

里庄町大字里見

6469番地3
馬場 辰巳氏

里庄町大字里見

2862番地
佐藤 千恵子氏

里庄町介護老人保健施設 特別会計補正予算

負担区分、変えてはいけない

仁科英麿議員 ①工事の見送りにより389万円の減額とあるが、当初予算は430万円。

また、配膳車購入の見送りによる減額500万円とあるが、当初予算は579万円。

両方合わせて、当初予算に比べて減額が121万円少ないのはなぜか。

②指定管理者と行政の負担区分は、工事は100万円、備品は30万円。

だから、工事2つは指定管理者が負担すべきもの。備品購入も、負担区分にちゃんと基づくべきでは。

③考え方を自由自在に変えてはいけない。
基準自体も非常に甘い。

むしろもっと大きくして、指定管理者に安くうまくやってもらうのがいい。考え方が逆行していないか。

総務課長 ①屋根塗装・

外壁工事は延ばしたが、駐車場の排水改良工事24万円と駐車場の屋根の修繕工事16万円を行った。

また、テーブル型冷蔵庫とガス乾燥機が壊れ、予定外に、25万円と72万円で急ぎよ購入した。

②暴風・豪雨等不可抗力によるものは、町が工事を行うことになっている。備品も、本来そこにあるべきものは、町が修繕更新するという考え。

③当初からの契約、約束を遂行しただけ。

よく検討・精査して予算化すべき

高田議員 ①屋根塗装・

外壁コーキング工事の予算減額の理由は、よく検討・精査して、

必要ないものは予算化するべきではないのでは。

②介護ベッドと入浴用リフトは何台買ったのか。

③温冷配膳車はなぜ買わなかったのか。

予算は、よく検討して上げるべき。

④工事100万円・備品30万円以下は管理者が持つと決めた協定には、きちつと従ってもらいたい。不可抗力の風水害は、保険で賄えるのでは。

約束事を変えるのであれば、公の場で議論する必要があるのでは。

総務課長 ①瓦を塗装し

ても数年すれば同じ状況に戻ってしまうとの診断を得たため見送った。
屋根瓦が老朽化してい

るため、平成28年度は工法等を検討し、29年度に改修の工事を実施したい。

②電動ベッド4台、入浴用リフト1台購入した。

③各階のリフトの出入り口の形状や方向が異なり、

1階の調理室から入れても2階からだすことができなことが判明した。

28年度予算に計上し、調理場の施設の開始とあわせて購入したい。

④最初から、不可抗力・施設等の設計又は構造上の原因の場合は町が負担する規定になっている。時間がたっていたので、今回は町で直した。

町長 ①正確に見積もりや調査をして予算請求したい。

ここが反対！

何だかんだと甘いやり方は認められない

仁科英麿議員

100万円以下の小修繕は指定管理者がやる、というのが本来の考え方。

不可抗力、自然災害は、保険の対象になるはず。対象にならないグレーゾーンは小修繕も町が認めるというなら、何のための協定か。何のための指定管理者か。

備品も、あるべきものは町が負担すると言うが、30万円という区分を決めている。何だかんだと公費で負担していく甘いやり方は、認められない。

傍聴に来ませんか

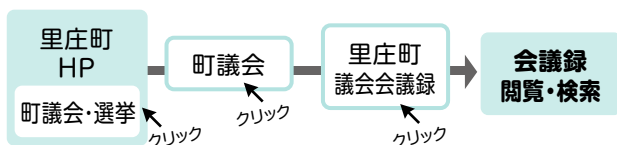
本会議は一般に公開され、どなたでも傍聴できます。

自分の選んだ議員の活動や町の方針、考えを知ることができる場です。

詳しくは、議会事務局までお問合せください。

議会会議録は里庄町の ホームページからご覧になれます。

<http://www.gijiroku.net/town.satosho/>



議案に対する賛否状況(3月定例会)

○…賛成 ×…反対 退…退席 欠…欠席

賛否状況

議案名	議員名	高田卓司	岡本雅道	岡村咲津紀	小野光三	眞野博文	仁科英磨	小野光章	仁科千鶴子	佐藤耕三	議決結果
議案第1号	専決処分の承認を求めることについて	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	原案承認
議案第2号	里庄町行政不服等審査会条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第3号	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第4号	方公務員法及び地方独立行政法人法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第5号	方活力向上地域特定業務施設整備計画に伴う固定資産税の特例に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第6号	固定資産評価審査委員会条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第7号	里庄町職員の給与に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第8号	里庄町税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第9号	里庄町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例及び里庄町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第10号	平成27年度里庄町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第11号	平成27年度里庄町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第12号	平成27年度里庄町介護老人保健施設特別会計補正予算(第2号)	○	×	○	○	○	×	○	○	○	原案可決
議案第13号	平成27年度里庄町介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第14号	平成27年度里庄町営墓地特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第15号	平成27年度里庄町水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第16号	平成27年度里庄町公共下水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第17号	平成28年度里庄町一般会計予算	×	×	×	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第18号	平成28年度里庄町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第19号	平成28年度里庄町介護老人保健施設特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第20号	平成28年度里庄町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第21号	平成28年度里庄町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第22号	平成28年度里庄町育英奨学資金給与特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第23号	平成28年度里庄町営墓地特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第24号	平成28年度里庄町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第25号	平成28年度里庄町公共下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第26号	モーターボート競走の施行について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第27号	人権擁護委員候補者の推薦について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	原案同意
議案第28号	人権擁護委員候補者の推薦について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	原案同意
議案第29号	平成27年度里庄町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
請願第3号	戦争法(平和安全法)の廃止を求める意見書を、政府に送付する請願書	全 会 一 致 で 継 続 審 査									継続審査

※ 議長は採決に加わりません。(賛否が同数の場合を除く。)

一般
質問

町政を問う

6人の議員が登壇して質問!

岡本 雅道 議員…………… 16P

- ① 水路整備事業について
- ② 第3次振興計画について

岡村咲津紀 議員…………… 17P

- ① 職員の勤務時間管理について
- ② 不妊治療費助成について
- ③ 18歳選挙権と投票率の向上対策等について

眞野 博文 議員…………… 18P

示された町政推進の長期的・総合的な指針
への疑問

佐藤 耕三 議員…………… 19P

- ① マイナンバー制度は安全か
- ② 災害時の避難場所は
- ③ ため池の水抜き後の悪臭

仁科 英麿 議員…………… 20P

- ① 里庄町の人口ビジョンと企業誘致の促進
について
- ② 下水道建設事業の今後10年での概成に
ついて
- ③ 県道及び町道の拡幅、改良の促進について

小野 光章 議員…………… 21P

- ① タクシー料金助成事業について
- ② 町の中央部に商業施設を誘致できないか

※一般質問の原稿は質問者が作成しています。

田越の水路整備は

農林建設課長／今後対応したい



田越の水田

問

田越の水路整備については、「土地の提供があれば進める」との回答が以前あったが、最近全く整備が無いがなぜか。

農林建設課長

兼務だが担当者はいる。

水路整備は、公共性や緊急性、費用面を勘案し判断している。

課で現地確認をして、その都度相談をしていきたい。

個別の案件については、担当課で今後対応したい。

国土調査の際、水路分の測量をし、分筆しているが、登記ができていない。水路整備は行わないのか。また、この整備事業の担当者はいないのか。

不妊治療支援は

健康福祉課長／第2子以降も助成する



岡本 雅道 議員

問

①第三次振興計画のリーフレット版が全戸配布されたが、具体的に何をどうするのか分からないとの住民の声がある。

定住促進は何をするのか。

町営住宅があっても退去したら解体するような住宅ばかり。何処へ住むのか。

また働くところがなければ生活できない。

②不妊治療支援助成への取り組みは、これまで通りの第1子だけか。

③廃棄物の適正処理の推進で、家庭ごみの減量化。コンポスト容器の補助金はどうか。

補助金請求をするのと、



元気に泳ぐこいのぼり

設置後の写真提出を必要としているが、簡素化できないか。

④防災対策について、内閣府から自治体に要支援者名簿作成が義務づけられているが、できているのか。

また、避難の個別計画は、どのようになっているのか。

企画商工課長 ①移住・定住フエア等で情報発信する。

登録している不動産業者の物件とマッチングする場合、町から移住希望者に伝える。

町内の優良企業のパンフレットやガイドブックの作成、インターネットを活用し、PR作戦を展開する。

開する。

健康福祉課長

②本年度から、第2子以降も助成する。

治療費は、1人3回限りで60万円を限度とする。

町民課長

③電気式生ごみ処理機は、現行2万円を3万円に、コンポストは、利用しやすい補助制度に申請の見直しを考えたい。

総務課長

④要支援者名簿作成は、120人の名簿ができている。引き続き今後も作成する。個別の避難計画は、現在作成をしているが、十分に引き続きできるように努める。

岡村咲津紀
議員



時間外勤務の削減は

総務課長／効率的な業務の遂行に努める

問

職員の健康管理
上から、またワ

ーク・ライフ・バランス
を実現するためにも、時
間外勤務は極力抑えなけ
ればならない。

残業は、手当てだけでは
なく、光熱費、暖房や電
気代等の経費も税金で賄
われる。

時間外勤務や休日出勤
に歯どめをかけ、業務の
見直しや効率化を行い、
人員配置やワークシエ
アリング、分業を進めて、
時間外勤務の削減に努め
なければならぬ。

職員全体の課ごとの1
人当たりの時間外勤務時
間と手当ては。

時間外勤務の多い職員
のメンタルヘルスへの取
り組み、時間外勤務削減
への指導をどのようにし
ているのか。

総務
課長

4月から10カ月
間の平均は、1
50時間で34万9200
円。休日出勤分は、38時
間で9万2400円。

休日出勤を含み企画商
工課が最も多く、668

時間で、152万4500
円。次に教育委員会が

227時間で、54万9700
円。町民課が207

時間で、45万5200円。
労働安全衛生法の改正

により、年1回のストレ
スチェックが4月から義

務づけられる。

職場の改善点など、そ
のデータを分析してメン

タルヘルスの不調が未然
に防げるよう努めていき

たい。

業務の緊急性、重要性
を十分理解し、工夫をし

ながらやっている。
職員が一体となり協力

し合い、効率的な業務の
遂行に努めていきたい。

専門的な相談窓口の設置は

健康福祉課長／考えていない

問

不妊治療助成の
補助件数は。

専門的な相談窓口を設
置したらどうか。

健康福祉
課長

平成24年度が2
人で2回分、平
成25年度が3人で3回分、
平成26年度が4人で5回
分、平成27年度が2人で
3回分の助成をしている。
専門的な相談窓口の設

置は、考えていない。



役場窓口

副町長

時間外勤務の削
減に向け、ノー
残業デーの設定をしてい
きたい。

職員数は、全国の類似
団体と比較した場合、当

町の職員数は、かなり少
ないのが現状である。

投票率を向上させるには

選管事務局長／地道な啓発活動を継続

問

小中学生の政治
に関する主権教

育は、どのように取り組
んでいくのか。

投票率を向上させるた
めに、町はどのような取

り組みをしていくのか。

教委事務
局長

子供たち一人一
人が政治に対す
る関心を高め、主権者で
あるという自覚を深め、
郷土を愛する心を育てる
とともに、主体的に社会
に参画し、よりよい社会

を築いていく意欲と態度
を育てていく。

選管
委員長

県と連携を図り、
町としてどのよ
うなことができるか検討
していく。

選管事務
局長

立会人の公募を
行い、特に若い
人に経験してもらい、選
挙に関心を持ってもらえ
るよう努力する。
地道な啓発活動を継続
して実施していく。

移住者の住居の確保は

企画商工課長／支援サービスと

町内業者の情報提供で

問

町政推進の長期的・総合的な指針を示す「第三次里庄町振興計画後期基本計画」から尋ねる。

①遠方からの移住者を受け入れる体制が整っていないと思えない。

不動産業界団体と連携・協力することで、移住者の住居を確保できるのか。

②町営住宅は建設せず、民間アパートを活用して対応する方法を検討するとしていたが、その後どうなったのか。

③安全性の確認が取れた空家を賃貸借物件として貸し出すとしているが、多くの問題がある。

企画商工課長

①住まい探しの支援サービスで不動産業者の所有案件とマッチングさせ、短期間で希望物件を探し出す。

また、移住相談者の希望に応じて、町内の不動産業者の紹介や行政から町内の不動産業者の方へ情報提供を図る。

農林建設課長

②家賃補助制度や既存民間アパート借り上げ型の町営住宅制度など、最小限の予算で効果が発揮できる手法を検討している。

③空き家の活用対策は、先進地事例を参考に十分な検討、協議を行い、当町に見合った制度づくりに努めていく。

下水道使用料、幾らにするのか

町長／5年置きぐらいに見直したい



眞野 博文 議員

問

①公共下水道の整備は、年間の事業費を約半分にしている。

人口減少、将来の設備の老朽化対策と一般会計からの支援の先細りなどを考えれば、下水道事業の経営改革は避けられない。下水道は採算性の悪い事業。

将来の住民負担を抑えるために、どう考えているのか。

②人口を維持することは困難。シミュレーションでも減ることになっている。人口が2割減ったとしたら、有収水量も2割減り、料金収納も2割減る。将来、下水道使用料を、幾らにすれば採算がとれるのか。

一般会計からの繰入を増やすのか。使用料を上げるのか。きちんと答えたい。

上下水道課長 ①一般会計が健全でなければ、下水道事業を進めることはできない。トータル的に考えて、財政の安全運転をしていく必要がある。

また、污水处理原価に対する回収率は62・6%。有収水量を増やすことで、污水处理原価を下げることもできる。供用開始区域内では、早期水洗化をお願いしている。

②現時点では、使用料のことは考えていないが、将来的には、徐々に上げていかなければならないと思っている。今現在やるべきことは、水洗化を促進すること。

町長

②国から使用料を200円ぐらいに上げるように指導されている。

いっぺんに上げることは難しいので、5年置きぐらいに見直しを図りたい。5〜10円ぐらいの額で上げることは必要だと考えている。

その他の質問

Q「大原焼き」のクロアズアップは

A 無理やり残す気はない

Q 緊急車両が通れない道路の改善は

A 7路線、400m整備する

Q「財政運営適正化計画値」とは

A 向こう5年間の財政予測を行い作成している

Q 良好な住環境のための条例整備の必要性は

A 都市計画の中で検討

Q 学校のエアコン導入はないのか。後期計画はA 個々の状況に応じて

佐藤 耕三 議員



公会堂を避難場所にできない分館は

総務課長／話し合いで見直します

問

① 公会堂を災害時緊急避難場所にできない分館はどこへ逃げるのか。

各分館に1つ避難場所が必要では。

民間の施設も使えるならマップへ載せては。

② 公会堂へ避難した場合、鍵がなければ入れない。

避難勧告、避難指示のタイミングは。

③ 昭和56年以前に建てた公会堂の耐震診断と計画は。

④ 海拔表示の設置をしては。

総務課長 ① ふさわしくない所は外した。

大きい指定避難所へ避難となる。

話し合いで見直します。

② 雨の状況や天気予報を見ながら判断する。

各分館内での話しが必要。

③ 希望があれば前向きに検討する。

④ 検討する。

マイナンバー制度は安全か

総務課長／国の方針に従い進める

問

① 機器を設置した人は、資格を持っていたのか。

② 設置、維持管理にかかる費用はいくらか。

③ 法には、「個人番号が漏えいし不正に用いられる

恐れがあるとき、番号を変更して通知しなければならない」とあるが、どんなケースか。

④ 被害者の救済措置は。

⑤ 銀行、医療機関と提携をすれば、自分の財産

湯ノ池の水抜き後の悪臭

町民課長／魚の死骸を回収し廃棄

問

① 昨年、湯ノ池で水抜き後、魚の大量死で悪臭が発生した。その対処は。

② 以前も同様のことがあったが、当時の対策は。今後の水抜きは。

棄した。

水の汚染が原因。

② 水温の上昇による酸欠死。

再発防止策はとっていない。

町民課長

① 網やボートを使って魚の死骸を回収し、清掃工場に廃

農林建設課長

② 町は抜いていない。水利組合と話をするべきと思う。



湯ノ池

健康状態が、他人に知られることになりかねない。セキュリティシステムを高めても万全はない。マイナンバー制度は安全か。

③ 漏えい、盗難、詐欺などが想定される。

④ 不審な電話等は、消費者ホットラインなどに相談を。

警察への被害届が必要。弁護士への相談も。

自分が一番の防止策。国の方針に従い進める。多額なお金がかかる。援助してもらいたい。

総務課長 ① 工事は、資格を必要としてない。

② 今は答えられない。

土地利用計画をつくって

企業誘致を

町長／今すぐの規制は、考えていない



仁科 英磨 議員

問

①里庄町は、全国的に見て、自然的、社会経済的条件で大変恵まれている。

しかし、将来人口は、今後50年間、相当の努力をしても現状維持、あるいはむしろ若干減の見通しとなっている。どういう推定によるのか。

私の感覚としては、5割ぐらい、あるいは1、2割は増えてもおかしくないと思える。

②元気にまちづくりをする、将来に希望が湧いてくるような行政をしていかなければならない。就学で出ていった若年者が帰ってくるよう、職住近接の社会をつくること、が今里庄町の課題だ。

企業誘致について、町

長は、12月議会では極めて消極だった。今でも同じ考えか。

③町の財政も考えなければならぬ。今人口が増えて、1人当たり財政需要は幾ら増えたのか。

④住民の理解も得た土地利用計画をつくり、その中から優先的に企業誘致をする候補地を探し出して、売り込んでいくべき。

企画商工課長

①国立社会保障人口問題研究所のシミュレーションをもとに推計すると、出生率

が2030年に1・8、2040年に2・07に回復したとしても、2045年の人口は、自然減で

1万人を割り込む。

一定住促進施策を拡充、発展させ、社会増について比較的不理のない移動数を確保しながら、1万1000人を保っていく。

町長

②町の発展には企業誘致を含めた産業の活性化が不可欠という方針には変わりない。

企業誘致は数々の要件を満たす必要がある。

国、県、労働機関等と連携して進めたい。

③試算していない。

④今すぐ規制をかけることは考えていない。

工事費を徹底的に安くし、今後10年で概成を

上下水道課長／事業の短期間実施は、予算的に困難

問

国は、平成26年1月から、汚水処理の未整備地域に対して、今後10年間程度で整備を概成させるよう指導している。

今、金利も非常に安い。工事費も、早くやれば何十億円か安くなる。

だから、公共下水道事業は、これまでの高い負担金を払い戻してでも早くやった方がいい。

ところが、当町では、逆に、27年から、今まであと15年かけるとしていたのを、20年延ばして、あと35年かけることに計画を変えた。

①去年の暮れのパブリックコメントは、何のためで、どういう意見があり、どう処理したか。

②浄化槽で十分だ、現在の計画は見直した方がいいという意見もある。計画区域変更の可能性は。

③受益者負担金が県内最上位に近い。

上払った人には払い戻しを。

④クイック配管等により、工事費を徹底的に安くできないか。

課長

①今後10年以内に完了させるべき、時間がかかると合併浄化槽での対処を望む世帯が多くなり、二重投資になる。利便性の向上からも早い方がいいとの意見があった。

しかし、事業の短期間実施は、予算的に困難。(一般会計からの繰入れが、2億5000万円から3億円必要となる。)

②現時点では、今の全体計画はほぼ全域を下水道で整備する考え。

③考えていない。

④今後、検討する。

その他の質問

Q 町道岩村深田線の改良 A 28年度中に完成

Q 町道松尾高岡線の改良 A 部分的な拡幅を進める

小野 光章 議員



タクシー料金助成事業の対象者拡大を

町長／事情がある人は相談を

問

タクシー料金助成事業の対象者を拡大する方向での見直しは、していない。

過去にも同僚議員からも現状の条件ではまだまだ本当に困っている人はいる。と指摘があった。①今後支給条件について、見直しをする意思があるか。

②町内に近親者がいて対象外になっている人はどのぐらいいるのか。

③毎年120万円ずつぐらい上乗せし、50人ずつ対象者を増やしていく。

こういった感じでの前向きな考え方は、できないのか。

④高齢者の方々は、今まで里庄を支えてきてくれた人達だ。

もう少し感謝の気持ちを持って本当に困っている人を助けてあげるのだと、前向きな姿勢をもってやっていただきたい。

町内で困っている人々がどのぐらいいるか把握するためにも、アンケート

トを用意して、対象者に記入してもらい、実態を調べる考えはあるか。

⑤もっと情報を集め、その情報に基づいてある程度は支給の方向を拡大していく方向で考えたらどうか。

健康福祉課長

①平成28年度からは、自動車を運転している人がいる世帯の場合、対象から除外することとし、また、運転に自信のない人は運転を止めてタクシー券の利用を進めていく方向で、要綱を改正する。

②75歳以上の人口は1576人、交付決定したのは202人で、1374人がこの助成制度を利用していない。

この中には近親者がいるため支給対象となっていない人や、助成対象となっても申請をしていない人がいる。

③対象者の基準は、一定の線引きが必要である。財政的なことも考えな

がら今後検討する。

④制度を実施する上では一定の基準を設ける必要があり、自助、共助で賄える部分は家族で助け合っていたきたい。

アンケートの実施については、現時点では考えていない。

町長

⑤家庭の事情等がある人は、健康福祉課に、「こういう事

情があるので、もらえないか」という形で相談に

来てもらえばいいと思う。



春らんまん

町の中央部に商業施設の誘致を

企画商工課長／引き合いがあれば積極的に対応する

問

里庄には点在した商業施設はあるが、中央部には、全くといっていいほど無い。

町の中央部に商業施設の集合体を誘致して、実際に向けて取り組むべきと考える。

執行部の考えを聞く。

企画商工課長

町内の商業施設はあるが、コンビニエンスストアやドラッグストア、飲食店なども開業しており、全体的にはそれほど

利便性が低下したように感じている。

これまでも、商業施設の立地に関する引き合いや相談実績もあるので、誘致は不可能なことではないと考えている。

町から企業側へ誘致をしていくことは考えてないが、企業から商業施設の立地に関する引き合いや相談があった場合は、町として引き続き積極的な対応をする。

元気に楽しく

金 山 子 供 会

金山市子供会は今年も元気一杯、総勢30名で活動を開始しました。

4月の新規加入者歓迎会に始まり、ラジオ体操イベント行事、清掃活動、クリスマス会、6年生を送る会と、一年を通して活動が展開されます。

夏休みのラジオ体操は幼児からお年寄りまで皆一緒に体を動かし、地域の触れ合いの場となっています。

昨年のイベント行事は夏休みに映画を観に行きました。送迎バスの中、子供も大人もおしゃべりが止まりません！学年を超えた友達の輪が広がり大切な思い出の一つとなりました。

清掃活動では、地域の方々へ日頃の感謝を込めゴミ拾いをします。短い

時間ですが、小さな子供たちも社会の一員として真剣に取り組めます。

クリスマス会は、毎年趣向を変えたお楽しみ会です。昨年は、皆でケーキを食べた後、輪投げ、ボーリング、景品釣りと盛り沢山でした。上級生は小さい子供たちを気遣いながら、進行役を務めてくれます。

金山市子供会は、いつも子供たちを温かく見守ってくださる地域の方々との交流を大切にしながら社会のルールや感謝の気持ちを学び、成長していく場となるよう、これからも活動を続けていきたいと思えます。保護者共々、宜しく願ひ致します。



《第84号》

平成28年4月28日 発行

発行／岡山県 里庄町議会

〒719-0398

岡山県浅口郡里庄町

TEL(0865)64-7217

FAX(0865)64-3618

編集／議会広報編集委員会

E-mail:gikai@town.satosho.okayama.jp

●あとかき

新しい年度を迎え進学、新社会人になられた方は、夢と希望、同時に不安もあることでしょう。

私たち広報委員も、初の取り組みで、不安のなか皆様に支えていただき、無事一年が過ぎました。

より身近な議会だよりを作りたいと思います。皆様のご意見ご感想をお寄せください。

(佐藤)

編集委員

委員長：小野光章 副委員長：仁科英磨 委員：仁科千鶴子 委員：佐藤耕三

